

今回のレッスンでは敢えて過去のものを使います。やったことがある方も再度準備をお願いします。オーディションのように、初めて台本を見て、いつも準備することをすべてやって臨んで下さい。よろしくお願い致します。

※台本部分のみ生かし、自己PRなどはありません。

★テーマ：台本演技を魅力的なものにしていこう！
お笑いに見習うキャラづくり、雰囲気の切り替え

シニアタレントクラス定期テスト課題 2019/07/02・05 女性版

●当日は1分間の自己PRと演技課題の審査になります。初めての場所で、初めて会った人に伝えるつもりで精一杯自分をアピールして下さい。

◆課題『家族って！』 ☆パパ・ママシリーズ・第4弾！

※演じるキャラクターや性別によって語尾や言い回しが変わることはOKですが、必要なセリフを増やすことは減点になります。表情・動きなどは役の気持ちや状況によって考えて下さい。

《登場人物》 ※関係性のみ。細かい設定・背景はご自身で考えて下さい。

ご自身の年齢・性別で佐知子（さちこ）を演じていただきます。

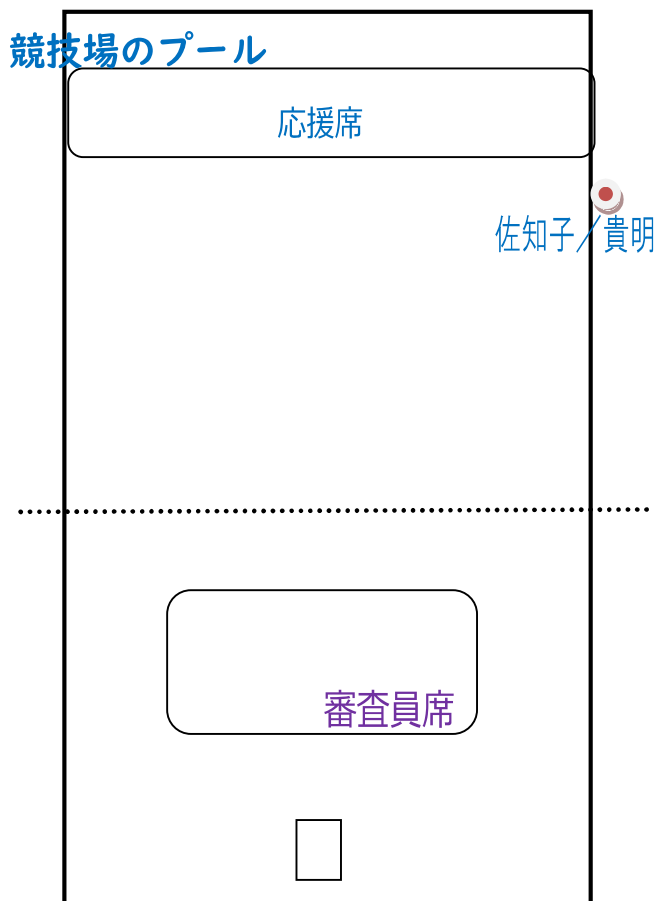
山木佐知子（さちこ）／母or祖母

とても優しく、何事にも一生懸命。それゆえ思い込みが激しい部分もある。病気がちな息子（孫）に普通の学生生活を送ってほしいと願っている。

山木貴史（たかし）／高校3年生（息子or孫）

幼いころから体が弱く、少しでも丈夫な体になるようにと佐知子の勧めで始めた水泳。続けてきた成果が実って学校の代表になった。

（当日の配置）あくまでも仮です。使いたい小道具は持参して下さい。



息子の高校生活最後の水泳大会。仕事が長引き、遅れてやってきた佐知子。プールでは決勝がおこなわれようとしている。

○プールサイド

佐知子「すみません、すみません」

狭い通路を通ってきて座る佐知子。前後左右の席に「どうも」

「すみません」と挨拶したりなんかして…。

そこに「第3のコース、山木貴史くん」というアナウンスが

聞こえる。(音なし。聞こえた風で)

佐知子「(気づいて) あっ」

間に合ったことが嬉しくて微笑むが、思わず声を上げてしまったことの言い訳をするように、隣の席の知らない人に話かけてしまう。

佐知子「あー、息子(孫)、息子(孫)なんです、3コース！」

と話していると、スタートの合図が！

目で追いながら静かに応援している佐知子。

佐知子「(拳を握って、小声で) がんばれ、がんばれ、あっ！(と腰を浮かす)」

プール内では一番だった息子(孫)が追いつかれて二番に……

佐知子、次第に興奮してくる。

佐知子「いけ、いけ、いけっ、たかしーッ！いけッ、いけッ、い、けーッ！(と、拳を振り上げ、そのまま) やったー！(と飛び上がる)」

思わず飛び跳ねてしまった佐知子。周囲の視線に気づき、照れながら、

佐知子「ありがとうございます、ありがとうございます、一番、息子(孫)、一番でした」

と、恐縮するものの、息子(孫)の貴史を見つけて、

佐知子「(叫ぶ) たかし！(手を振る) おめでとう！たかし！」

うれしさを爆発させる佐知子に戸惑いながらも手をふって応える貴史だった。

終わり